

【東軌工業株式会社】

代表取締役の川畑です。当社は昨年にBH転落という重大事象を発生させました。分析すると「経験値＞BH性能値」となる危険な状況に気づけませんでした。本事象を忘れない為、11月期の安全会議を「重機安全の日」とし、重機安全作業に特化した会議を行いました。



保線は長い歴史からどんな作業においても経験に依存する部分が非常に多く、「決められた「性能値」や「ルール」には必ず危険が直結する理由がある」という事を共通認識とし「当たり前の事を省略せず確実に実施」、「意識を込めた確認行為の実施」を行動目標とし、全社員一丸となって事故防止に努めていきます。

【トピックス】

◆2024/11/11「リメンバー11.3重機安全の日」

2023.11.3に発生した軌陸BH横転事故の反省、対策を風化させない取組みとして、毎年11月の安全会議を重機安全の日と定め、再発事故防止を徹底します。

座学 ⇒過去の重大事故反省と対策の振り返り

実設訓練⇒重機作業時のトラブルを想定し、メーカー指導のもと異常時対応訓練を実施



【異常時対応訓練】

◆仙台車両センター構内分岐器撤去棒線化工事

昨年11月より、鉄道クレーンを使用した分岐器撤去棒線化工事を施工しています。月2回の切替え工事では、軌道作業時間120分程度とタイトなスケジュールの中、仙台貨物ターミナル軌道作業所指導のもと機械作業をメインに労力軽減、効率化を図って施工しています。人員調整では仙台出張所のご協力のもと、他社の助勤に頼ることなくオール東軌で取り組み、無事故継続で施工しております。



【鉄道クレーン(KRC810N)での分岐器吊上げ】



【グラブリングバケットでの路盤整正】



【0.03汎用BHでの路盤整正】



【グラブリングバケットでの路盤整正】

◆青い森鉄道溶接工事 2024.8

当社として初の盛岡支店管内での溶接工事を施工しました。事前検討では、宿泊先、使用機材、材料の調整を野辺地出張所のご協力のもとで施工に臨みました。

東部建設さまには、点呼場借用等々大変お世話になり、計画通り無事故で完遂しました。

今年度は福島AP切替工事も含め、各支店の施工を行った事により、見聞を深め、技術力のレベルアップに繋がったと感じております。



【盛岡支店管内での溶接工事一連】

＜職場のホープの紹介＞

奥津 智之(おくつ ともゆき) 41歳

溶接G“鬼教官”おくつあんです。

東軌溶接第一期生で、強面ですが部下からの信頼が厚く、こう見えて慎重で丁寧な施工に徹しています。昨年はとうとう青い森鉄道に東軌GS溶接の爪痕を残してきました。

今後も現場での技術指導、次期溶接技術者の育成に取組み、更なる溶接Gのレベルアップに貢献してくれることを期待します。

《鉄道経験》 17年

《抱負》 更なる技術向上

《趣味》 海釣り

《夢》 でかい魚を釣ること



伊藤 晴輝(いとう はるき) 25歳

入社7年目、新卒採用一期生、焼き鳥好きの伊藤くんは、溶接技術者として鬼教官指導のもとメキメキ腕を上げております。昨年は軌作責取得し、緩和曲線の計算は苦手ですが若手のリーダーとして更なる成長を期待します。

《鉄道経験》 7年

《抱負》 先輩方のように仕事ができるようになる

《趣味》 乃木坂46のライブに行くこと

《夢》 自分の家を建てること

